

神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃

電話 (078) 361-4490

FAX (078) 361-4539

<http://nssk-kobeshoten.org/>

振替口座 01110-2-10517

2014年 3月 大 齋 節

『神戸昇天教会との、 わたしの出会い』

聖職候補生 リチャード 池澤 隆輝

垂水伝道所の信徒であったにわたしにとり、神戸昇天教会は、身近といえる場所ではありませんでした。「伝道区」という言葉も知らなかったわたしが、教区の集いのあれこれに導かれるようになると、神戸昇天教会は、ひととき参加者の多さが目を引く、活動的な教会という印象を持つようになりました。

そんなわたしの、昇天教会との初めての出会いは、葬儀の場でした。2009年の夏、神学生であったわたしは、指導司祭の藤井司祭に伴われて、姫路顕栄教会からマーガレット礼子姉の葬送の式に参列しました。胸の痛む、ひっそりとした式を終えて、帰ってきたことを憶えています。

神学校では、同級生たちに昇天教会の写真を見せると、お堀と白い壁が印象的な「星の王子様の教会」という二つ名がつけられました。この聖堂が、神戸教区の初代

主教であるフォス主教の聖別であること、震災で焼失した聖ミカエル教会の旧聖堂の面影を今に伝えるものであることを後に知ることになりました。

教区付を解かれ、神戸国際大学附属高等学校への事実上の常勤となつてから、それまでの月一回の実習から、毎主日の実習勤務として昇天教会でお世話になることになりました。いわば、神学校時代からの養成期間の総仕上げを昇天教会で過ごすということです。こちらでは、婦人会をはじめとして、公にも個人的にも多くの方々に大変お世話になっています。地域の年長者、年少者のような親しさで、お交わりができることは大きな恵みであり、感謝しております。

実際、日曜日は、他の6日間とは切り離された日ではないために、主日実習勤務といえ、礼拝のお手伝いが中心であることも



に、これが限界でもあります。

教会のみなさんには、お世話になりっぱなしです。ただ、聖職養成ということは、礼拝、生活、学問（これらは神学校の指針です）のみならず、信徒のみなさんに育てていただくといった側面が大であらうかと思えます。

養成を受けるわたしがこのように言うのは、僭越極まりないことですが、昇天教会のみなさまからはこの点、大変有意義な示唆と教示、教鞭をただいてくださることができたと実感しております。

どうか春からも、「星の王子様の教会」で、かわらないお交わりとお助けをお願い申し上げます。

この神戸昇天教会が、みなさんの癒しと温もりの場所でありますように、微力ながらお手伝いさせていただきますと願っています。

定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式
" 9時15分 教会学校
" 10時30分 聖餐式・説教
午 午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会
土 午前10時30分 教会掃除
(ご奉仕をお願いします)